スクールヘルスリスポーツ・一般 スポーツ・一般 一子どもたちの多様化したが、大きにも、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	ーダー派遣事業 青少年局 会計 会計 た心身の健康課題に た心身の健康課題を といるでである。 では、子どもたちが対 の1人配置校や養護 を対し、子どもたちが対 の1人配置校代代第1 を対して対策係者等が でするである。 では、子どもな対策を表している。 では、子とな対策を表している。 では、子とな対策を表している。 では、子とな対策を表している。 では、子とな対策を表している。 では、子とな対策を表している。 では、子となが、これでは、子となが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	交であることから対り 包える現代的健康記 教諭未配置校に、 健康課題への対応 こついて情報交換を から構成される連絡	平成2 学校健! 健やかな・学校保健法等・学校保健不成2(会)・教育振興基本 護教計分とはいえた。 課題に適切に対処 退職養護教諭を「2についてのようにの、スクールでするため、スクールでは、スクー	20年度 東教育課 体の育成及び学校 の一部を改正する の年6月10日参議 計画(平成20年7 とといっため、経できる環境を整備できる環境を整備できる環境を整備である。	法律案に対する附院文教科学委員 月1日閣議決定) に期待されている 験豊かな退職養護する。 ・ダー」として派遣 援を行うほか、学			
スポーツ・一般  子どもたちの多様化しが、大半は養護教諭の大大半は養護教諭の浅い養護教諭の浅い養護教諭のといかのではいかがある。  経験の浅い養護教諭のと、学校歯科医、学校歯科医、学校歯科医、学校歯科医、学校歯科医、学校歯科医、学校歯科医、学校歯科医、学校歯科医、学校歯科の関連を表している。	青少年局 会計 会計 一 た心身の健康課題に と心身の健康課題で と配置子どもたちがする。 はし、子どもたちがする。 はし、子どもたちがする。 は、人配でもたちがする。 は、大配では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変	年度 担当課室 上位政策 関係する計画、通知等 関係する計画、通知等 のであるため、美別である。とから健康である現代的健康課である。 をである現代的健康に、の対応である。である。 をである。では、でいる。でいる。では、でいる。でいる。では、でいる。でいる。でいる。でいる。でいる。でいる。でいる。でいる。でいる。でいる。	学校健/ 健やかな・学校保健法等( ・学校操( ・学決議( ・教育振興基本・するが) ・教諭の果たいえが、 選教が一適切に対処とはいるが、 とはいうのとはいうが、 というのとはいうが、 というのとはいうが、 というのとが、 はいうので、、 はいうので、、 はいうので、、 はいうので、、 はいうので、、 はいうので、 はいらので、 といらので、 とい。 といらので、 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 とい。 といる。 といる。 と	東教育課  「体の育成及び学校」 「の一部を改正するの年6月10日参議」 「計画(平成20年7日をいるできる環境を整備できる環境を整備できる場合できる場合できるできる。」 「スクールへルスリーター・バースリーダー・バースリー・バーのでは、バースリー・バーのでは、バースリー・バースリー・バースリー・バー・バーのでは、バースリー・バーのでは、バースリー・バーのでは、バースリー・バーのでは、バー	学校健康教育課長 松川恵 安全の推進 法律案に対する員 法律教科閣議 に対す委員 月1日閣議 に対す委員 に対す委員 日期豊かな退職養する。 一ダー」としてか、検医 接替学校三師(学校医、			
一般 子どもたちの多様化しが、大半は養護教諭一人が、大半は養護教諭の人が、大半は養護教諭の人が表現を表現でいたが、一般 経験の浅い養護教が診り、 校における問題点や変剤的 学校歯科医、学校薬剤的 1. 全国連絡協議会の開 2. 委託事業の実施(40) 予算額(補正後) 執行額	会計 - た心身の健康課題に た心身の健康課題に 大配置校ともたちが対 の1人配置校代的等で が対け、 ではな対応では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	上位政策 関係する計画、通知等  以前であるため、養養であることがら対け、であることがのである。現代的健康に対しているでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	健やかな。 ・学校保健法等 ・学校保健平成20 ・教諭の果たすれるが十適切のとはい対処 退職者が一適切のとはい対処 は取っている。 は取っている。 はないない。 はないないない。 はないないない。 はないないない。 はないないないない。 はないないないないない。 はないないないないない。 はないないないないないないない。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	東教育課 体の育成及び学材 の一部を改正する の年6月10日参 の年6月10日参 い計画(平成20年7 といったののできる環境を整備できる環境を整備できる環境を整備できるアルへルスリーダー・ ないったルスリー支が言をがある。	松川憲行 安全の推進 法律案に対する附 院文教科学委員 月1日閣議決定) こ期豊かな退職養護する。 -ダー」として派遣 接を行うほ、学校三師(学校医、 23年度要求			
子どもたちの多様化したが、大半は養護教諭ーク が、大半は養護教諭ーク教諭を未配置校等へ派送 教諭を未配置校等へ派送 経験の浅い養護教諭の し、メンタルへ即題点や教授 学校歯科医、学校薬剤的 1.全国連絡協議会の開 2.委託事業の実施(40) 予算額(補正後) 執行額	た心身の健康課題( 人配置校や未配置材 遣し、子どもたちが対 01人配置校や養護 が様化する現代的等は が様化な対応方策者等が で行政関係者等が 引催(本省実施) 直府県・11政令指定	関係する計画、通知等  「対応するため、養交であることから対けを表現代的健康に対応を表現では、一般では、対対である。では、対対である。では、対対では、対対では、対対では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域	・学校保健法等 ・学校保健法等 ・学校保健不成20 ・教育振興基本 ・教育が一の果たすれたが、一次ではいる。 ・教育がはに対処 ・教育でのようではいる。 ・教育でのようでは、アクラー ・教育である。 ・教育でのようでは、アクラー ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教をは、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教育では、アクト ・教をは、アクト ・教育では、アクト アクト アクト アク・ アク・ アクト アク・ アク・ アク・ アク・ アク・ アク・ アク・ アク・ アク・ アク・	の一部を改正する の年6月10日参議 計画(平成20年7 役割が今まで以上しない。そのため、経 できる環境を整備で スクールヘルスリー か言を行うなどの支 ルヘルスリーダー・	法律案に対する附 院文教科学委員 月1日閣議決定) に期告されている 験豊かな退職養護する。 -ダー」として派遣 で行うほか、学 学校三師(学校医、 23年度要求			
が、大半は養護教諭一人教諭を未配置校等へ派送 経験の浅い養護教諭の し、メンタルへルスなど効 校における問題点や数別 学校歯科医、学校薬剤的 1.全国連絡協議会の開 2.委託事業の実施(40) 予算額(補正後) 執行額	、配置校や未配置を 造し、子どもたちが計 の1人配置校や養護 が様化する応見代的な は、様にするでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	画、通知等  三対応するため、養交であることから対対 包える現代的健康  教諭未配置校に、健康課題への対応でいて情報交換を いら構成される連絡  全都市)  20年度  103	帯決議(平成20 会)・教育振興基本 護教諭の果たす役 だが十分とはいえ 課題に適切に対処 退職養護教諭を「こ についため、スクール 協議会を設置する	0年6月10日参議に計画(平成20年7 日本では、では、では、そのため、経できる環境を整備である。そのから、経できる環境を整備である。 2クールヘルスリーが言を行うなどの支ルヘルスリーダー・ 22年度	院文教科学委員 月1日閣議決定) こ期待されている 験豊かな退職養護する。 -ダー」として派遣 援を行うほか、学 学校三師(学校医、			
が、大半は養護教諭一人教諭を未配置校等へ派送 経験の浅い養護教諭の し、メンタルへルスなど効 校における問題点や数別 学校歯科医、学校薬剤的 1.全国連絡協議会の開 2.委託事業の実施(40) 予算額(補正後) 執行額	、配置校や未配置を 造し、子どもたちが計 の1人配置校や養護 が様化する応見代的な は、様にするでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	交であることから対対しえる現代的健康記録 表配置校に、健康課題への対応について情報交換をいら構成される連絡を対していい。 20年度 103	をが十分とはいえ。 果題に適切に対処 退職養護教諭を「こ についての指導助するため、スクー」 協議会を設置する 21年度 103	ない。そのため、経できる環境を整備で スクールヘルスリー か言を行うなどの支ルヘルスリーダー・ い。	験豊かな退職養護する。 -ダー」として派遣援を行うほか、学学校三師(学校医、			
し、メンタルヘルスなど多校における問題点や効り学校歯科医、学校薬剤的学校歯科医、学校薬剤の 1.全国連絡協議会の開 2.委託事業の実施(40) 予算額(補正後) 執行額	様化する現代的な 果的な対応方策等に 雨)・行政関係者等だ 間催(本省実施) 直府県・11政令指定	健康課題への対応について情報交換をから構成される連絡である。 であるでは、20年度 103	についての指導助するため、スクール協議会を設置する 協議会を設置する 21年度 103	か言を行うなどの支ルヘルスリーダー・	援を行うほか、学 学校三師(学校医、 23年度要求			
<ol> <li>委託事業の実施(40)</li> <li>予算額(補正後)</li> <li>執行額</li> </ol>	直府県・11政令指定	20年度 103	103		1.221			
執行額	19年度 — —	103	103		1.221			
執行額	_			1	0			
	_	84	106					
++ <= -+-			100					
執行率	_	81.8%	103.3%					
総事業費(執行ベース)	_	84	106					
・都道府県、政令指定都市教育委員会へ委託 ・委託先である都道府県教育委員会・政令都市教育委員会から提出された事業完了報告書や成果物により、事業内容や経費の執行状況について確認を行っている。また、必要に応じ実地調査を実施している。 ・実地調査においては、経費の適切な執行の確認をするとともに、委託先である都道府県教育委員会の事務担当者から、本事業の要望等を適宜聴取している。 ・教育委員会への委託は平成21年度限りで、22年度から学校・家庭・地域の連携協力推進事業(補助事業・生涯学習政策局計上)へ統合。 ・全国連絡協議会の開催経費については、22年度も引き続き本省執行とし、21年度の執行状況を点検・確認した上で必要に応じて見直す。								
を護教諭の1人配置校や すうなどの取組みを行い、 見:①本事業は、平月 養会の開催等事務的経費	養護教諭の未配置 その成果や課題を 或22年度予算にお 貴を計上しているもの は廃止すべきである	校に退職養護教諭全国に普及するモーいて、モデル事業と いて、モデル事業と つであるが、事業規。	を派遣し、多様化 デル事業である。 :してその主要な部	する健康課題への 『分を廃止・補助事	対応についての指 業化しつつ、残る全			
	表 本事業の要望等を遊 教育委員会への委託に 教策局計上)へ統合。 全国連絡協見直す。 全国連応じて見直す。 の観点: この事業は 意教諭の1人配置校や うなどの取組みを行い、 見:①本事事務的経行 会の開催等事業としては 会の開催等事業としては	表育委員会への委託は平成21年度限りで 教育委員会への委託は平成21年度限りで 教策局計上)へ統合。 全国連絡協議会の開催経費については、 必要に応じて見直す。 この事業は、子どもたちが抱え 護教諭の1人配置校や養護教諭の未配置 うなどの取組みを行い、その成果や課題を 見:①本事業は、平成22年度予算にお 会の開催等事務的経費を計上しているもの こより、単独事業としては廃止すべきである	あ、本事業の要望等を適宜聴取している。 教育委員会への委託は平成21年度限りで、22年度から学校 対策局計上)へ統合。 全国連絡協議会の開催経費については、22年度も引き続きる 必要に応じて見直す。 動の観点: この事業は、子どもたちが抱える現代的健康課題 護教諭の1人配置校や養護教諭の未配置校に退職養護教諭 うなどの取組みを行い、その成果や課題を全国に普及するモー 見: ①本事業は、平成22年度予算において、モデル事業と	数育委員会への委託は平成21年度限りで、22年度から学校・家庭・地域の連 政策局計上)へ統合。 全国連絡協議会の開催経費については、22年度も引き続き本省執行とし、21 必要に応じて見直す。 この事業は、子どもたちが抱える現代的健康課題に適切に対処でき 護教諭の1人配置校や養護教諭の未配置校に退職養護教諭を派遣し、多様化 うなどの取組みを行い、その成果や課題を全国に普及するモデル事業である。 見:①本事業は、平成22年度予算において、モデル事業としてその主要な部 会の開催等事務的経費を計上しているものであるが、事業規模が少額であり、日 こより、単独事業としては廃止すべきである。	ある。本事業の要望等を適宜聴取している。 教育委員会への委託は平成21年度限りで、22年度から学校・家庭・地域の連携協力推進事業(教策局計上)へ統合。 全国連絡協議会の開催経費については、22年度も引き続き本省執行とし、21年度の執行状況を必要に応じて見直す。 この事業は、子どもたちが抱える現代的健康課題に適切に対処できる環境を整備する護教諭の1人配置校や養護教諭の未配置校に退職養護教諭を派遣し、多様化する健康課題へのうなどの取組みを行い、その成果や課題を全国に普及するモデル事業である。 見:①本事業は、平成22年度予算において、モデル事業としてその主要な部分を廃止・補助事会の開催等事務的経費を計上しているものであるが、事業規模が少額であり、既存事業との統合により、単独事業としては廃止すべきである。			

#### スクールヘルスリーダー派遣事業

#### 文部科学省 106百万円

職員旅費等 0.4百万円 を含む

経験豊かな退職養護教諭を養護教諭未 配置校等へ派遣し、校内での研修や個 別の対応が求められる子どもへの対応 方法等について指導等を実施し、子ども たちが抱える現代的健康課題に適切に 対処できる環境を整備する。

#### 【公募·委託】



A. スクールヘルスリーダー派遣事業 :106百万円 教育委員会(計51機関)

スクールヘルスリーダーを対象校へ派遣し、児童生徒の健康課題に対する実務指導や、地域の関係機関との連携方法などに対する指導助言を行った。

# **資金の流れ** (資金の受け取り先が何を行っているかについ て補足する)

(単位:百万円)

	A. 北海道教育委員会.			E.			
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	諸謝金	派遣に対する謝金	6.0				
	旅費	派遣に対する旅費	1.9				
	その他	トナーカートリッジ、コピー用紙等	0.1				
	計		8.0	計		0	
		B.		F.			
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
			(2)			(1)	
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」							
においてブロックごとに最大の							
金額が支出さ	計		0	計		0	
れている者について記載する。	C.			G.			
いて記載する。 使途と費目の 双方で実情が	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
分かるように記 載)			(2)			(1)	
	計		0	計		0	
	D.			H.			
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)	
	計		0	計		0	

## 「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

## A:スクールヘルスリーダー派遣事業

	支出先	支出額(百万円)
1	北海道教育委員会	8
2	長崎県	6
3	千葉県教育委員会	5
4	愛知県教育委員会	5
5	福島県教育委員会	5
6	静岡県教育委員会	5
7	兵庫県教育委員会	4
8	大阪府教育委員会	4
9	佐賀県教育委員会	4
10	愛媛県	3
:	その他	58
	合計	106

<sup>※</sup>表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。